

# 令和2年度 宇都宮市立河内中学校 学校経営計画

## 1 教育目標

### (1) 基本目標

生徒の知・徳・体の調和のとれた成長を期し、豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きようとする生徒を育成する。

### (2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

#### ① 実力を養う

たくましい体力と何事にもくじけぬ強い精神力(耐性)を養い、自ら学習しようとする意志力を持つ生徒を育てる。

#### ② 友愛を深める

礼を重んじ、友情を育て、深め、思いやりのある生徒を育てる。

#### ③ 品性を高める

人格向上を目指して自己を磨き、豊かな心を持つ生徒を育てる。

## 2 学校経営の理念

### (1) 「魅力ある学校」(感動ある学校, 学び合う学校)

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の授業実践
- ② 感動的な学校行事の推進
- ③ 言語活動と読書活動の推進
- ④ 人権意識の涵養と規範意識の醸成
- ⑤ 保護者との連携強化

### (2) 「地域とともにある学校」(カリキュラムマネジメント)

- ① 地域教育力の活用
- ② 地域行事への生徒の参加・協力の推進
- ③ 「宇都宮の良さ」「河内地区の良さ」を発信し、考えさせる指導の充実
- ④ 地域奉仕作業, 地域美化活動等の展開
- ⑤ 学校の教育活動の地域への情報発信

### (3) 「やりがいのある学校」

- ① 協働する教職員組織の構築
- ② 教職員の授業力の向上と生徒の学力の向上
- ③ 教職員の服務規律の確保
- ④ 教職員の業務(働き方)の見直し

## 3 学校経営の方針

### 【河内地域学校園教育ビジョン】

『すこやか河内 ～ 小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します ～』

### (1) 確かな学力の育成

- ① 授業研究の日常化・活性化（「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善）  
（校内研修・一人1授業公開・地域学校園全体研修）
- ② 考える力を育む言語活動の充実（学校課題）
- ③ 教科の枠を超えた授業参観と校内研修会の充実
- ④ 小中学校で連携した学習指導の推進

- (2) 豊かな心の育成
- ① 「特別の教科 道徳」(考える道徳・議論する道徳)の充実
  - ② 読書に親しむ態度の育成 ・(「地域学校図書館利用指導」の充実)
  - ③ あいさつ, 返事, 言葉遣いの指導 (あいさつ運動 (全校・小学校)の活性化)
  - ④ 「いじめ防止基本方針 (改訂版)」の着実な運用
  - ⑤ 感動体験を重視した学校行事の充実 (運動会・合唱コンクール・マラソン大会等)
- (3) 健康・体力の向上
- ① 健康的な生活を送るための指導の充実
  - ② 新体力テストの結果を活用した教科体育の充実
  - ③ 縦割りによる運動会の充実
  - ④ 安全に配慮したマラソン大会の実施
  - ⑤ 自他の安全を守る能力の育成 (避難訓練・安全集会)
- (4) インクルーシブ教育及び個に応じた指導の充実
- ① 障がいに対する理解・研修及び合理的配慮への取り組み
  - ② いじめや不登校の未然防止、早期対応、組織的な対応  
(Q-Uの活用・SC・MSとの連携・関係機関との連携・家庭との連携)
  - ③ かがやきルームの効果的活用と別室登校支援の充実
- (5) 学校における教職員の働き方改革の推進
- ① 多様な専門スタッフと連携したチーム力の向上
  - ② 月1回以上のリフレッシュデーの設定
  - ③ 学校業務の効率化と勤務時間の管理
  - ④ 部活動指導体制の見直し
- (6) 地域とともにある学校づくりの推進 (カリキュラムマネジメント)
- ① 宮・未来キャリア教育の推進及び地域人材の活用  
(ふれあい文化教室・福祉教育・キャリア教育・健康教育)
  - ② 地域協議会との連携
    - ・地区体育祭, 文化祭, 小学校運動会への参加協力
    - ・書写指導 図書館ボランティア 食農体験 花壇整備
    - ・「未来塾」(放課後学習支援活動)への参加呼びかけ
  - ③ 「学校マネジメントシステム」の中間期評価の実施と活用
  - ④ 学校だよりやHP等を通しての情報発信

#### 4 今年度の重点目標 (「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○)

- (1) 学校運営
- ① 「魅力ある学校」づくり
  - ② 感動的な学校行事の推進
  - ③ 計画的な小中一貫教育の推進
  - ④ 教職員の働き方の見直し
- (2) 学習指導
- ① 学力調査等を活用した共通実践
  - ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
  - ③ 学校園授業コンセプトの定着・充実
  - ④ 言語力の基礎の徹底

(3) 児童生徒指導

- ① 「特別の教科 道徳」の充実
- ② 体験活動・読書活動の充実
- ③ 正しい言動で自分を表現できる生徒の育成  
～元気なあいさつ，さわやかな言葉遣いと身だしなみ，素直な「ごめんなさい」～

(4) 健康（保健安全・食育）・体力（元気アップ教育に係る取組を含む）

- ① 『健康増進・体力向上の基本的な知識を身に付け，自分の身体の状態を理解し，体力向上に励む生徒の育成』
- ② 運動に親しむための体力づくり
- ③ 望ましい食習慣の形成

## 5 特色ある学校づくりに関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ① 言語活動の充実によるコミュニケーション能力の育成
- ② 自己の気力・体力・競技力を生かし，その成果に向けて互いに励まし合おうとする態度の育成
- ③ 生徒自ら主体的に生活環境に働きかけようとする態度の育成

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

- ① 言語活動の充実，読書活動の充実
  - ・主体的・対話的で深い学びのある授業実践
  - ・朝の読書の時間
  - ・ビブリオバトル
  - ・読書郵便
- ② 感動的な学校行事の推進
  - ・縦割りで行う運動会や校内マラソン大会（委員会活動・保健体育科・学校行事）
  - ・生徒主体で行う文化祭や合唱コンクール（生徒会活動・実行委員会）
- ◇③ 環境教育の推進
  - ・地球温暖化防止やエコ活動等，地域環境保全に係る活動の推進  
（委員会活動・総合的な学習の時間）
- ◇④ 花いっぱい運動の推進
  - ・草花の手入れや栽培等，校舎内外の教育環境の整備（委員会活動）

## 6 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

- ① 基本的考え
  - I 地域の教育力を生かした学校教育の充実
  - II 地域ぐるみの児童生徒の健全育成・安全確保
  - III 学校行事等を活用した家庭・地域の教育力向上
- ② 主な取組
  - I 地域の教育力を生かした学校教育の充実（カリキュラムマネジメント）
    - ア 学習支援活動
      - ・ 総合的な学習の時間における食農体験や福祉体験
      - ・ 「未来塾」の広報活動と活動内容の検討・充実
      - ・ 国語科書写の毛筆指導
      - ・ 技術・家庭科の食育（地産地消の意義等）
    - イ 校内環境整備
      - ・ 親子クリーン活動

- ・ 図書室蔵書整理
- ・ 委員会活動と連携した花の手入れや栽培  
(昇降口前での花の栽培, グリーンカーテンづくり等)
- ウ 部活動指導員及び部活動外部指導 (R 2年度)
  - ・ 部活動指導員 女子バスケットボール部
  - ・ 部活動外部指導者 野球部, 男子ソフトテニス部, バドミントン部
- II 地域ぐるみの児童生徒の健全育成・安全確保
  - ア 地域巡回指導 (原則月 2回)
  - イ あいさつ運動 (原則第一水曜日) 中 1 生徒が小学校に行き活動
- III 学校行事等を活用した家庭・地域の教育力向上
  - ア 家庭教育活動 文化祭を活用したミニ演奏会等
  - イ 地域教育活動 学校園クリーン活動

## (2) 小中一貫教育・地域学校園

### ①基本的考え

『すこやかに学ぶ子ども像』を設定し、小中学校の連携を図りながら児童・生徒への教育の充実を目指す。

#### 『すこやかに学ぶ子ども像』

- ・ 学び方を身に付けている子ども
- ・ 家庭学習の習慣を身に付けている子ども
- ・ 言葉の正しいつかい方を身に付けている子ども

### ②主な取組

- ・ 小学校乗り入れ授業を通し、授業力の向上に努め中 1 ギャップの解消を図る。
- ・ 全体研修会・11部会, 各教科部会 ⇒ 年間 3回
- ・ 小中合同あいさつ運動
- ・ 地域学校園授業コンセプトの定着・充実

#### 【河内地域学校園授業コンセプト】

『対話的な学びを通して、考えを広げ深める授業の展開

—言語力の基礎の徹底と学習形態の工夫—

- ・ すこやか河内学校園「生活のきまり」の共通指導

## (3) 不登校対策

### ①基本的考え

チームによる相談体制の強化及び学校・地域・関係機関の連携を強化し、不登校生徒への対応の充実を図る

### ②主な取組

- ・ 教育相談 (年 3回) の実施
- ・ 家庭との連携強化
- ・ スタンダードダイアリーの有効活用
- ・ SCやMSの活用, SSWによる支援
- ・ 教育相談部会, 校内支援委員会, 事例検討会の適時開催と有効活用